

九管本部



平成15年4月1日



第191号

発行：第九管区海上保安本部・海の相談室
〒950-8543 新潟市万代2丁目2番1号
(新潟総合庁舎)

電話 025-244-4140

FAX 025-243-1694

E-mail: sodan9@jodc.go.jp

※ 内容等でお気づきのことがあり
ましたらお知らせ下さい。



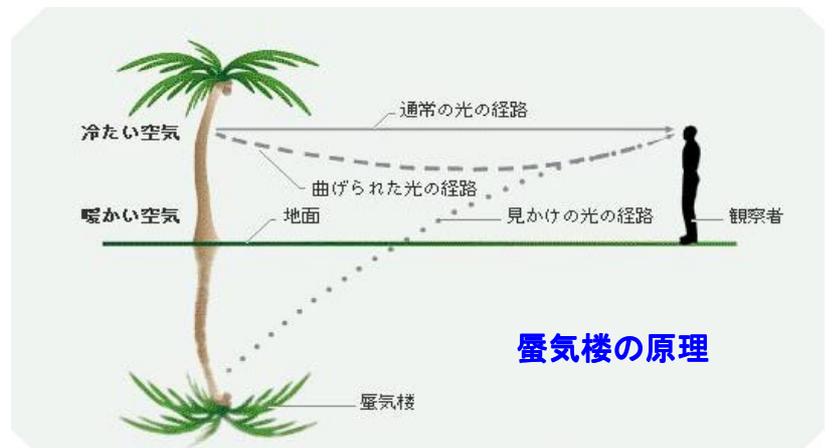
いよいよ新年度。新しい環境で、第一歩を踏み出した人も多いことでしょう。
今回は、春の日本海の話題を二つお送りします。



○ 「蜃気楼」しんきろう

富山湾のこれからの風物史。それは、春から初夏にかけての穏やかな日に現れる「蜃気楼」
です。実在しない物体が実在しているように見えたり、実在する建物などが実際とは違った場
所に見えたりします。

蜃気楼は、巨大な蜃（はまぐり）
が吐き出す息で楼閣（大きな建物）
が見えるという中国の古い伝説から
きています。海の上に町が見えるこ
とから別名、海市（かいし）や浮島
（うきしま）ともいわれ、俳句では
春の季語になっています。



蜃気楼の原理

ふつう物体が別の場所に見える現
象は、砂漠や海で見られ大気の状態が原因で起こります。

蜃気楼は、地面や海面付近の気温の上下の分布が激しく変化している時に、海上にレンズ状
の空気の層ができ、この層を通過した光りが異常な屈折や反射をおこして、幻の虚像となるた
めです。

常願寺川、黒部川などの大きな川から北アルプ
スの冷たい雪解水が富山湾に流れ込み、海面上に
冷たい空気の層が発生します。このように冷たい
空気の層と暖かい空気とのあいだで急に密度が変
化し、屈折や反射を起こす空気の層が発生するた
め、富山湾で蜃気楼がよく見られるのです。

富山湾の中でも魚津海岸の蜃気楼が有名です。

条件が揃わないとなかなか見ることができませ
んが、魚津市のホームページでは、出現予測の確
率で蜃気楼情報を提供しています。

浦島太郎に出てくる竜宮城も昔の人が突然海に
現れた楼閣（建物）を見て、乙姫がいる宮殿を想
像したんですね。そう考えるとロマンティックですね。



巡視船の蜃気楼（魚津市企画広報室提供）

平成13年7月2日の午後3時30分から黒
部市生地から水橋方面で観測されました。

海難事故の捜索にあたっている巡視船「や
ひこ」の船上部が大きく伸びているのがわか
ります。（同日午後5時23分）

○ 春をつげるほたるいか漁

春の訪れをつげるホタルイカ漁が富山湾で始まっています。

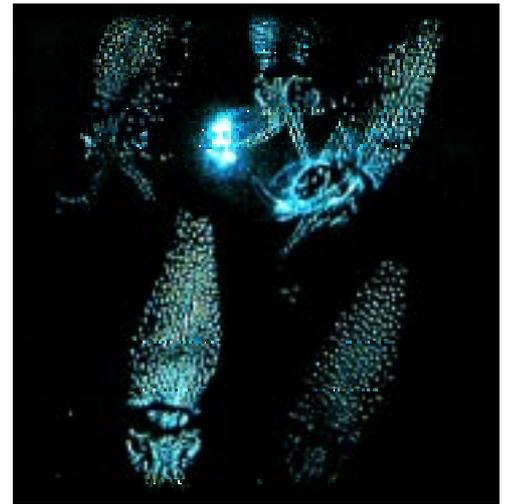
ホタルイカは、全長は雄が約4センチ、雌が約6センチのごく小さなイカです。ホタルのように青緑の美しい光りをはなつことからよく知られています。

ホタルイカは、腕先や両眼から腹部にかけて約千個もの発光体があり、青緑の光りを発光します。

ホタルイカは、もともと深海性発光動物なのですが、4月から6月にかけて繁殖のため、群をなして富山湾の岸近くまで泳いでくるのです。この海域にだけ集まるのは富山湾の海底地形に特徴があつて、多くの海底の谷が存在するため、ホタルイカの繁殖や生育に適した環境を作っているからだろうといわれています。

富山湾にそそぐ常願寺川河口から魚津漁港に至る15キロメートル間の沖合約1.3キロメートルまでは、ホタルイカが産卵のために群をなして泳ぎ回る「産卵群遊海面」として特別天然記念物に指定されています。

毎年4月から6月の期間、未明から早朝にかけて沖合約1kmにある定置網の網起こしをすると、ホタルイカが青緑色の光を放ちながら群で泳ぐ幻想的なシーンが見られます。このホタルイカ漁の様子は、観光船で見学することもできます。



発光するホタルイカ



ホタルイカ漁を見学する観光船

○ 海の相談室のスタンプ完成

海の相談室では、この度制定された「九管区のエンブレム」を基本とした相談室のスタンプを作成しました。

今後、イベントや臨時「海の相談室」等で紹介していきます。

○ インターネットホームページ

- ・第九管区海上保安本部海洋情報部のホームページのアドレス
<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN9/index.html>

○ テレホサービス

- ・身近な海の話をお届けする「海の豆知識」の他、週末の潮汐時刻や日出没時間等の提供
電話番号 025-246-1000

○ ファックスによる海洋情報の提供

- ・ファックス情報サービスによる九管区水路通報、九管区海洋速報、マリンニュースの提供
ファックス電話番号 025-243-1694

